

改善提案にフォーカスした 内部監査報告書の抜本見直し (パート1)

第一期「経営監査塾」〔第4回開催分(全8回開催)〕

- 日時 ● 2015年12月8日(火) 14:00~17:00
- 会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人における約20年の会計監査への従事と10数年にわたる内部監査(実施支援、コンサル、品質評価等)、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボルボのコーポレートオーディット日本担当ダイレクターおよびUDトラックス株式会社監査役として監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士(現在 inactive)。

●プログラム●

●講演/改善提案にフォーカスした内部監査報告書の抜本見直し(パート1) <14:00 —17:00>

内部監査の価値を決定づけるのは、いかに経営に役立つ報告書を書けるか、特に指摘事項・改善提案の出来栄です。この分野ではIIA等の指針やガイドラインがほとんど見られないこともあって、あまり検討もせずに社内の慣行を踏襲している場合が多く見られます。それだけに見直しの効果は潜在的にきわめて高く、これまで習慣的に続けてきた報告書の書き方を形式・内容ともに専門的な視点から体系的に見直して適切な改善策を講じることで目に見える効果が期待できる領域です。

今回はまず報告書全体の構成やそこに記載される項目の記載上の課題や留意点を説明します。その上でとりわけ重要な指摘事項・改善提案の内容および書き方の問題点さらに改善の方向をさまざまな事例を通して実践的かつ論理的に解説します。例えばベテランの監査人でも陥りやすい指摘や提案のアプローチの間違いの典型例や監査人が気づかない改善提案が引き起こす問題あるいは舌足らずな文章表現の具体例です。これらの事例を踏まえて、監査のプロフェッショナルにふさわしい指摘事項・改善提案を策定するためのロジックと記載要領を紹介いたします。

1. 内部監査報告書の全体様式と構成

—報告書のデザインとベースとなる考え方・記載項目別留意点

2. 付加価値を導く改善提案のロジック(業務監査用)と事例研究

—指摘事項・改善提案その他記載事項の考え方と記載要領

●講演をベースとした(グループ)ディスカッション&総括コメント <16:00 —17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名(資料代含む)

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先(社) 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

150188	2015 12/8 経営監査塾		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			